

# 神和台

30周年  
記念号

地域情報紙  
「しんわだい」  
通算第88号  
2008年6月25日

## 皆で「将来」考えよう

今年、神和台に入居が始まって以来、30周年を迎えました。そこで広報部は、活動の一環として、有志の皆様へ「30周年を振り返って」の思い出等を執筆して頂きました。  
(広報部)

# 安全・安心、心通う街へ

神和台 三十周年 おめでと うござい ます。私 はこの町 に越して来ました。現在高二になる娘は未だ小学校三年生でした。先日その娘に、名谷と神和台ではどちらが思い出深いと聞いた所、当然神和台の方が



思い出は多いと言 う返事でした。ただ、上の 子供は名谷でした。私の場合は、佐賀に十八年、関西に三十二年住んでいますが、やはり、子供の頃に住んでいた佐賀が当然故郷です。この街で育った子供が、神和台こそが、我が故郷と胸を張って言える街造りを

これからも進めて行くようにしたいと思っています。その為には、この街が、他の街に負けない、安全で綺麗な、住民の皆さんが仲良く安心して住める街造りを進めて行く必要が有ります。その為には、どうすれば自分の住む街が良くなるのかどの様にすれば良いのか、皆様一人一人がこの街の将来をお考え頂きたいと思ひます。自治会は、その為には努力を惜しまないつもりです。ただ、自治会の役員も仕事を持っていたり、また子育て真っ盛りなど、皆それぞれ事情があります。自治会だけではなく、住民の皆様方の力を借りて一緒に物事を進めて行ける様に行きたいと思ひます。我が街神和台をこれから十年二十年先にもっと良くなるようにしていく為に皆様のお力をお貸し下さい。  
(自治会会長 徳永明)

## 神和台30年、続くチャレンジ



名谷ベルデから見た神和台

衛星から見た最近の神和台全景 (Google提供)

昭和四十八年八月十日、各種の許可を得て造成、着手致しました。この団地は、大規模開発であり神戸市の踏間機関である専門委員会(兵庫県、神戸大学、その他の学識経験者等で組織)の指導の下、昭和五十二年に、第一期工事完成となりました。

## 住み継ぐ次世代 進むリフォーム

たつてあります。この地は昔から住み易い地であったようです。「神和台」の命名は、当時の積水ハウス(株)神戸営業所にて団地名のコンペを行ない、決定

販売当時のリーフレットを大切に保管して下さったオーナー様がいらっしゃいました。それには、「須磨の西北、新しい山の手」。陽光うららかな丘陵「垂直水の心のふるさと」と、う

致しました。コンセプトは、神戸の地に平和と安らぎのある団地です。あの当時は、集会所及び通学路も整備されておらず、皆様方には、大変、苦

労をおかけしたと、懐かし

くも、思い出されます。それから三十年、再生住宅の二棟目も誕生し、今では二世代目が、住み継ぐ家として、リフォームする事で地球環境にも優しい街づくりへの取組みが始まっています。育った街で、再び子育てをするという理想の実現に向けて一歩、歩み出しました。

今後も「神和台」という名の由来通り、平和で安らぎのある街づくりのお手伝いをさせて頂けるよう努力して参ります。  
(セキスイ2社から寄稿)

# 私にとっての「神和台30年」

三十年の時は流れ、入居時には神和台の中、どこを通っても子供たちの明るい元氣な声が聞こえ、活気があり、周囲は自然の営みを感じられ皆様とも和氣あいあいのお付き合いが出来、お陰様で 遠くの親戚より近くの他人 という言葉がそのまま通じる暖かさある住宅地であると思います。これからは、ますます住民も高齢化して参りますが、いつまでも人が人に優しい思いやりのある住宅地であるようお願いをこめて、企画し作ってみました。

## ずっと住みよい街で

思い起こすと三十年前の 神和台は、周囲を深い緑に 囲まれていて、まるで山の 中の小さな集落という感じ でした。

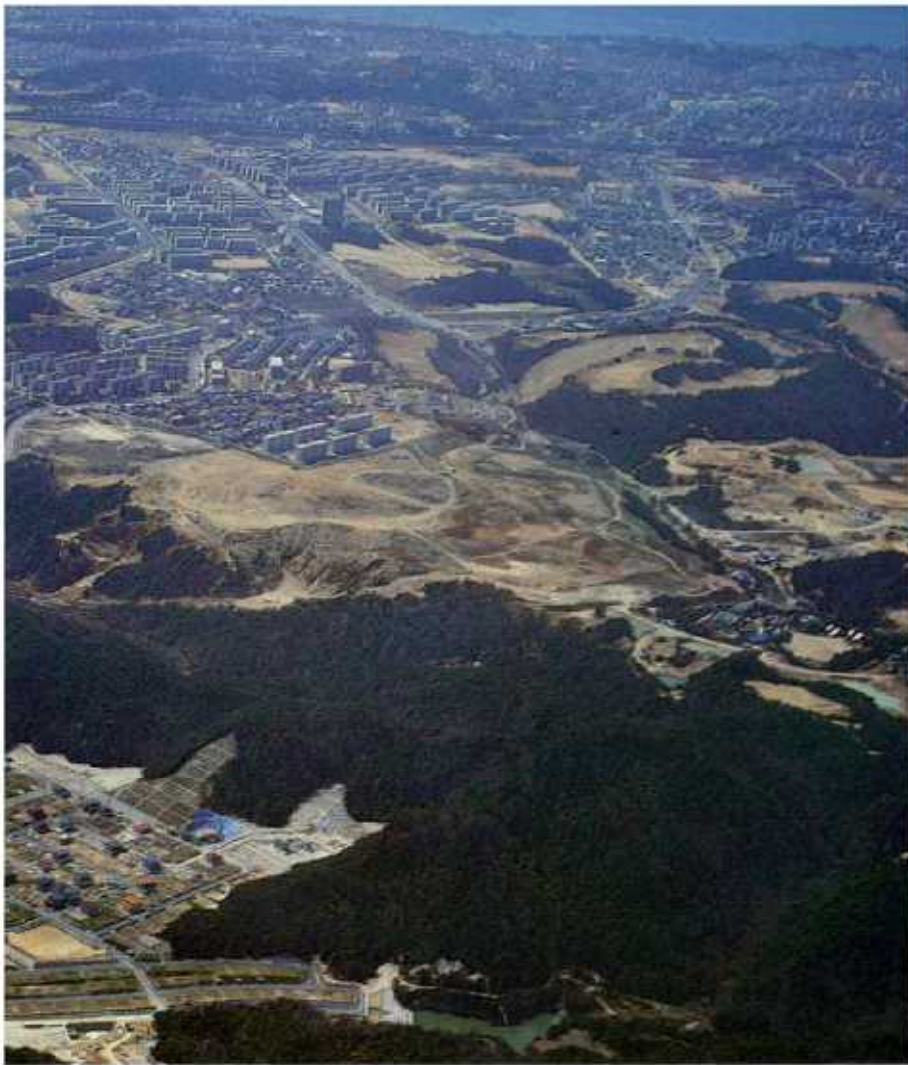


その頃は本 当に静かな町 であつたた め、入居者の 中には、騒音 のない静かで

別荘地のような環境での生活を夢見てやって来たのに、ピアノや洗濯機などの音がうるさいという苦情を耳にすることもありました。今では、道路、地下鉄など交通インフラも整備され、閑静な居住環境でありながらも、当時とは比べ物にならないほど生活至便のよい町へと変貌を遂げました。当時はここまで開発が進むとは想像できませんで

(広報部)

# 鳥のさえずり豊かな緑



陽光うらかな丘陵に、総617区画の街づくり。この地を名谷・神和台と呼ぶ。(セキスイハウス宅地分譲パンフレットより)

した。これからも神和台が住み良い町であり続けるこ

とを願っています。

(3丁目・別宮)

## 開発進むが樹木残る

空地に雑草が茂り、その茂みの中から「ヒバリ」がさえずり静かで心をなごませる風景が多々見られた。

のは、ありがたい限り。全ての職から開放され、今想うこと、道すがら周辺の人々と会話の場が少ないこと、「良い天気ですネ」

「散歩ですか」と気軽に話しかけられるが、その後の会話に通じないのはさみしい。相手に頼るのではなく、自ら会話を求める姿勢を示さねばと思うのだが、これから先の私の大きな生き方、課題だと思ふ。草花と戯れ花咲かす様に課題を一步進めたい。

(3丁目・船江昭徳)

## 猟師が現れびっくり

須磨区高倉台から転居して今年八月で二十九年目に

なります。入居後 私には五人分の食糧をぶら下げ

の終った息子には福田中学への通学の苦勞が始まりました。(以前は呼べば聞こえる距離の近すぎる通学でした。)小学校も車道と歩道が完全に分離された団地の新しいきれいな校舎から田舎度十分(木造の講堂・トイレ等)の学校への転校でした。

て、あの階段を上る苦勞が始まり、夏休み

田舎度といえば、ある日猟銃を肩に猟犬を連れておじさんを家の前で見つけたのは本当に驚きました。三男の小学校入学時に、交通量が多く信号のない中山交差点は危険だといわれ親が当番制で登下校時に見守ったこと、又PTAのクラス委員で垂水警察交通課に信号を付けてほしいと陳情に行つた事もありました



空き地や車の通らぬ道路はこどもたちの遊び場だった



「住めば都」というのは本当ですね。今では子供たちが育ち、いっぱい思い出のつまったこの神和台で元氣で老後を暮らせたらと祈っております。

(3丁目・村尾)

## 町のぬくもり大切に

三十年前私が神和台を住宅地に選んだ理由の一つに、みどりが豊かであることである。みどりに囲まれた環境は、心の癒しに抜群の効果をもたらすと聞く。

入居が始まった頃は空地には野兎が飛び跳ねていたし野犬の群れが、出没していた。みどりが織りなす景色に触れ透明ともいえる空気を吸い時には野鳥の声を聞

く閑静な場所での生活に満足している、大自然の恵みに感謝の気持ちを持つことにより人間本来のやさしさが育まれそれがお近所の無事を気遣う気持へとつながる、それが町のぬくもりと云えるのでないでしょうか。(2丁目・山下保清)

# 楽しい思い出いっぱい

私にとっての「神和台30年」



すぐ近くに「太陽と緑の道」があった



## ハイキングや虫取り

桜咲く四月、土歳、六歳、五歳の子供を連れ自然を求めてこの地へ越してきたの

は、今から三十年前のことです。造成中の野原が広がって天高く雲雀が轉り、野原にマムシがいて連絡が来ると連れ立って見に行きました。小学校へ通う子供達はねじ花、土筆、季節の花を摘みながらのんびり道草して帰ってきたものでした。

神和台にはバス停がなく、夜遅く転法輪寺を上がつてくると田んぼの上に螢がゆらゆら舞っていて気分が安らぐのを感じたものです。転法輪寺のお山は、太陽と緑の道、竜神さんに手を合わせ、徳川道ゆかりの道



30年前の神和台団地全景



を通過して大山寺へ昼はハイキング、櫛の木にはカブト虫がたくさんいて夜は虫取り、親も子ども夢中で遊びました。今では成人した我が

## 庭でビールが飲める

私が一丁目の土手の上に住み始めたとき、他の家はまだ建っていませんでした。入居して間もない夏の夜、家でビールを飲んでみると、神和台の入口の辺から、かすかな声で「タスケ

デー」という女性の悲鳴が聞こえてくるではありませんか。痴漢が出たのです。私はすぐ二階のベランダから「すぐ行くぞー」と大声で叫びました。同時期に入居されたご家

族と高塚山の竜神様までお弁当を持って登った楽しい思い出や、ご近所で私方の子供の同級生や同年代のお子様は亡くなられた悲しい思い出があります。美しかった山々が削られ、大きな建物が建つのは残念ですが、まだ神和台は自然に恵まれ、距離的にも市街地に近いので住みやすいところ

だと思えます。そんな訳でここで一生終る予定ですのでよろしくお願ひします。特に夏は仕事から帰ってくると涼しい風が吹き最高です。市街地で庭でビールが飲めるでしょうか。ここではそれができます。(1丁目・大野雅弘)



今の学園緑が丘あたりは格好のタコ揚げの場所だった

家の子供達にもその頃の楽しい思い出が残っているのでしょうか。その後、神和台にはバス停ができ、総合運動公園駅

## いまだに「陸の孤島」

ができて、便利になりました。雲雀、螢は何処へ、太陽と緑の道はない。(2丁目・納富二郎)

速に進歩して行き、県道は整備され神和台のバス停も出来、地下鉄は西神迄延伸し、運動公園が出来、周りは住宅化し現在のように大変貌して行きましたが神和台はあまり変化が無く、未だ陸の孤島状態で車での出口は一カ所です。我が家を振り返って見て、様々な出来事はあった筈なのにこれほど特別に思ひ起こす事はありません。なぜだろうと考えて見るがたぶん当時自身少々背伸びしてマイホームを手に入れた為日々の生活に必死で脇目をする余裕も無く過した事のように思えます。子供達(三人)も真面目に成長して行き親は当てに出来ないと感じたのかどの子も自身で進路を選択し結婚して家を離れて行きました。気がつけば老夫婦二人になってしまったと云う所です。一息ついて何かを考え畑を借り野菜作りとかやっています。三年前から病院通いが始まり今後は老化と病氣と上手に付き合いたいながらスローライフを心掛けて一日一日を過して行きたいと思っているところです。(2丁目・T・A)

私にとっての「神和台30年」

最後の牙城守ります

野菜の直売所はいかが？

三十年を振り返ってみて... 日々の生活は、水や空気のよう...



の中心に店舗用地を購入した... 電気屋さん、を開設し商...



コスモス電化が開店した昭和54年ごろの町並み...

ん、電気屋さん、うどん屋さん、雑貨屋さん、化粧品店...

みとなり、淋しい限りです。やはり町内に全店舗が...

神和台の農園クラブのお野菜をよくいただきます...

商店並ぶ賑わいどこへ

神和台に入居しても早や三十年、私達が入居して来た昭和五三年五月...



一匹の子犬と運命的出会い

が北公園で遊んでいると、公園の側溝で可愛い子犬が...

入居して数ヶ月経ったあんなに見つけ、飼いたさの朝、運命的な子犬との出会いがありました...

(3丁目 山崎)

神和台の歩み



- Timeline of events from 1929 to 2008, including the opening of shops, schools, and public facilities.

# 子らの歓声いつまでも

## ラジオ体操や餅つき

### 子供会、100人前後で発足



夏祭りで繰り出した子どもみこし。

十年ひと昔とい  
いますから、三十  
年はさしずめ昔の  
昔その又昔という  
事になりましよう  
か。今、当時を振  
り返ってみます  
と、懐かしさばか  
りが先立ち一向に  
具体的な事柄や数  
字が浮んで参りま

せん。ならばと、今年度の  
会長の方に立ち会っていた  
だき資料を当たってみまし  
たが、残念ながら平成二年  
以前のは保管されていませ  
んでした。致し方なく娘に  
訊いたり、その頃ご一緒し  
た方々に問い合わせをして  
いる内に少しづつ思い出し  
て参りました。

か百名前後位と記憶してお  
りますが、子ども会として  
発足し垂水区子ども会連合  
会に登録、入会致しました。  
夏休みにはラジオ体操、年末  
にはお餅つきをし、変わら  
ず廃品回収には力をいれて  
おりましたが、集会所はま  
だなく、何かの打ち合わせ  
は順番に世話係の自宅とし  
ておりました。



年末には餅つきも行われた

増えて現  
在は九十  
余名と聞  
いており  
ます。

私は夕  
方の散歩  
にはよく  
北小公園  
の傍ら  
とおりま  
すが、幼  
稚園児か  
ら小学生  
まで男の  
子ども女

の知人が出来た。今も会え  
ばやさしく声を掛けてくれ  
る。菊作りは、森口老人会



会長の指導のもと、土作り  
から始まった。翌年大輪の  
花が咲いた。会の運営につ  
いても教えられた。高適な

方であった。先年、百歳で  
昇天された。感謝と共に心  
から「冥福を祈ります。

子どもと一緒に遊ぶ様  
時に足を止めて飽かず眺め  
ておりますと、挨拶や連れ  
ている犬の相手をしてくれ  
たりしますので、すっかり  
嬉しくなっております。

自治会主催の夏祭りに  
は、櫓の上で踊りとても楽  
しい思い出になっている。  
大勢の方々の「尽力を得  
て、現在の老人クラブ」有  
悠会」が健在であることを  
感謝します。

子ども会が存続します様  
にと……。

(3丁目・藪野信枝)

(1丁目 小野真由美)

私にとつての「神和台30年」



- △平成V
- 1年8月 神和台自治会十周年を迎える
- 同年8月 神和台夏祭りを開催
- 同年10月 神和台簡易郵便局開局
- 2年5月 加藤歯科医院開院
- 同年8月 神和台夏祭りを開催
- 同年11月 三方五湖へバス旅行開催
- 3年 名谷派出所移転(中山交差点から阿弥陀堂バス停北へ)
- 同年8月 神和台夏祭りを開催
- 同年11月 吉備路と瀬戸大橋へバス旅行開催
- 4年8月 神和台夏祭りを開催
- 同年11月 京都へバス旅行開催
- 5年4月 総合運動公園駅への新遊歩道(三丁目)開通
- 同年 名谷小学校一〇周年迎える
- 同年8月 神和台夏祭りを開催
- 同年11月 淡路島へバス旅行
- 6年8月 神和台夏祭りを開催
- 同年11月 帝釈峠へバス旅行\*⑤
- 7年1月 阪神淡路大震災発生
- 同年3月 柚耶の里オープン
- 同年8月 納涼祭開催(大震災の影響から、夏祭りとしては行わなかった)
- 8年8月 神和台夏祭りを開催
- 9年10月 信楽焼・伊賀忍村へバス旅行
- 10年8月 自治会発足二十周年記念夏祭り開催
- 11年3月 集会所補修工事
- 同年8月 神和台夏祭りを開催
- 12年 神和台農園クラブ発足・貸し農園オープン\*⑥
- 同年8月 神和台夏祭りを開催
- 13年 神和台ネットの会発足
- 同年8月 神和台夏祭りを開催
- 同年 神和台自治会法人化する
- 14年8月 名谷病院開院
- 15年8月 神和台夏祭りを開催
- 同年11月 神和台文化祭初めて開催\*⑦
- 16年8月 神和台夏祭りを開催
- 同年11月 神和台文化祭開催
- 17年 コーナン・関西スーパーオープン
- 同年8月 神和台夏祭りを開催
- 同年11月 神和台文化祭開催
- 18年 集会所リフォーム完成\*⑧
- 同年8月 神和台夏祭りを開催
- 同年11月 神和台文化祭開催
- 19年8月 神和台夏祭りを開催
- 同年11月 神和台文化祭開催

## 鍵がきっかけで交友

### 老人クラブで生花教室

昭和五十五年十一月神和台老人クラブが発足。五十六年親睦活動を開始。茶道・華道・舞踊・詩吟・菊作り。

教室を開くことを勧められていたのは、知香流師範中山香恭先生。現在も文化祭でお世話になっている。

当時集会所の鍵は、必要の都度、管理部の方に借りに行った。鍵のお蔭で沢山

から始まった。翌年大輪の花が咲いた。会の運営についても教えられた。高適な

子ども会が存続します様にと……。

# 昔、福田川沿いに湯浴場があった

昔、神和台の近くには、こういうところもあったそうです。神和台から見て、ベルデ住宅の左側の方の福田川沿いに、温泉場があり、



湯浴場(温泉場)

名を玉子旅館とって、農閑期には湯浴場として、このの場になっていた様です。(イラスト・長谷川)

## いつまでも残したい 転法輪寺の伝統行事

二つ目は、一月七日午後から鬼追い式(追(つい)な式)が行なわれ、三匹の鬼や子供も松明を持って踊りながら無病息災を願う、その後お菓子とか、餅等がまかれ邪気を払い、疫病を防ぐと言われ大勢の人で賑わいます。皆様も一度参加してみたいかがでしよう。



転法輪寺の鬼追い式(古い本堂時代)

## 新しくなった掲示板

この度三十周年を記念して各丁目の掲示板の建て替えを致しました。よりキレイで、丈夫なものになりました。マグネット式のものや、押しピンでも軟らかく刺しやすいいもので



北公園の掲示板

## 今年度役員紹介

今年度の自治会をリードして下さる役員の方々をご紹介します。(敬称略)

会長 徳永明  
1丁目副会長 御堂高行  
2丁目副会長 長谷川つや子  
3丁目副会長 林正展  
気持のよい「ふるさと神和台」作りのため、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

## じいちゃん頑張る



私が神和台に越して来て、頃に比べて、周辺にお店も増え便利になりました。こちらに来て二十五年、私も孫に「じいちゃん」と呼ばれる年になりましたが、この一年頑張りたいと思っておりますのでよろしく御願致します。(御堂高行)

## やさしい自治会に



神和台入居開始三十年目を思う時、子育てに良い環境ということ

## 会長をサポート



ご存知の通り若輩者で、役員の皆様にご迷惑をおかけすることが多々あると思っておりますが、できる限り会長をサポートできればと思っておりますので一年間よろしく御願致します。(林正展)

## 神和台情報ファイル

平成19年10月〜20年5月 (敬称略)

### 転入

岸 旭彦 (1・23・10)  
白田 広昭 (1・21・24)  
桜木 真由美 (3・12・13)  
嶺田 朋子 (3・8・1)

### 転出

北野 武 (1・14・5)

### おめでた

高田 功 (2・10・6)  
青木 伸介 (3・14・10)  
矢野 正人 (1・2・7)  
橘 琴葉 (3・21・3)  
秋山 龍輝 (1・23・7)  
福本 悠 (1・23・1)  
岸 倅太郎 (1・23・10)  
高木 駿輔 (1・21・25)

### おこやみ

陸 誠 (2・4・13)  
早田 敏則 (3・15・1)

## 編集後記

今年には神和台団地建設三十周年・節目の年に当たり、三十周年記念の「しんわだい」誌の制作に関わり得ました事を光榮に思っております。テーマは「三十年を顧みて」としました。ご多忙の中、ご寄稿・情報の提供、等々、ご支援、ご協力を戴き、無事発行に漕ぎつけた事が出来ました。新広報部員年齢構成も今世代構成そのものであります。力を合わせ頑張るつもりです。今後共積極的な情報の提供・ご寄稿等、ご支援、ご協力を宜しく御願致します。(広報部)

近年、歌声喫茶がブームです。三宮、元町を中心に活動している団体もありま



## 青春時代に戻って 歌声を響かせよう

近い方が中心ですが、歌うことが好きな方なら老若男女を問わずどなたでも大歓迎です。心に残る歌をキーボードの演奏に合わせて、三

丁目入江さんの指導で、スクリーンに歌詞を映し皆で楽しく歌っています。歌を歌うことは血行が良くなり、新陳代謝が盛んになり、ストレスの解消もでき健康に良いこと、は、いろいろな医師の著書を見ても明らかです。さあ、皆で声を合わせて歌い、過ぎ去った青春時代の楽しかったあの頃を思い出してリフレッシュしましょう。

毎月第二、第四日曜日の午後二時〜三時半に集会所二階で行っており、会費は五百円(参加の都度徴収)です。

現在準備している曲は、唱歌、童謡、懐かしのメロディー、外国民謡など約百曲余りで、ご希望により追加できます。

問い合わせは三田(791・0709)、堀尾(791・9044)、安田(791・3071)まで。